

現代社会学部で学ぶ4年間

座学で得られた知見がどのように役立てられるかを実体験を通じて学ぶことで、理論と実践の両輪を実現し、地域課題解決に貢献できる人材を育成します。

TOPIC

- 地域課題解決に貢献できる実践力のある人材の育成
- 地域づくり実習Ⅰ・Ⅱなど、地域社会での実体験を重視したカリキュラムを受講
 - 1・2年次に社会学の基礎となる「基盤科目」を履修し、知識を深める
 - 2・3年次には社会科学系科目を幅広く学ぶ「専門共通科目」を履修し、分野を横断的に学ぶ
 - 3・4年次では、各専攻の専門科目や専門演習により、専門的見地から地域活動や調査を実施



キーワードと活動

経営専攻

めざす進路
[業種]
金融、公務員、製造、サービス、情報通信 など
[職種]
営業、経営企画、広報、管理（生産管理、財務経理、人事） など

情報専攻

めざす進路
[業種]
情報、通信、流通、サービス、製造、公務員 など
[職種]
経営管理部門、情報システム部門、生産管理部門 など

観光専攻

めざす進路
宿泊業（ホテル、旅館）、運輸業（鉄道、空港グランドスタッフ）、観光協会、旅行業、公務員 など

環境専攻

めざす進路
[業種]
製造、エネルギー・インフラ、建設、公務員、サービス など
[職種]
環境保全、技術、安全・品質管理、生産管理、設備運用、事務 など

英語専攻

めざす進路
[業種]
旅行、宿泊、コンサルタント など
[職種]
営業部門、ホテルスタッフ、調査部門 など

1年次

【広く学ぶ】

教養科目や外国語科目、実習科目を通じて、幅広い教養と実行力を身につけ人間性を高める。

2年次

【学びを深める】

教養科目（基盤）や専門共通科目を通じて、社会学の基礎として必要な知識を学ぶ。また、専攻やゼミも選択。

3年次

【実践する】

地域課題への対応力をつけるため、専門共通科目や専門科目を学ぶとともに、ゼミ活動を通して地域課題について学ぶ。

4年次

【実践を深める】

これまでの地域課題に関する学びの集大成として、卒業研究・プロジェクト研究をまとめる。

実践的な学びをサポートする体制

教養科目、教養科目（基盤）

- 学問の基礎を学び、視野を広げる
- 現代社会概論 ●社会学 ●国際関係論 ●国際協力論 ●生活の科学 ●心理学 ●地域社会論 ●地域政策論 ●会計基礎演習 ●法学 など

専門共通科目

- 社会学の基礎を学ぶ
- 社会調査法 ●経営分析論 ●データサイエンス基礎 ●生活環境論 ●観光政策の歴史 など

外国語科目

- 基礎的な外国語科目は必修とし、さらにスキルを高めたい場合は選択科目から履修
- 英語 ●実践英語 ●翻訳と文化 ●ビジネス英語 ●中国語/韓国語 ●TOEIC ●富山の文化と英語 など

情報系科目

- データ分析に必要な知識や技術を習得する科目は必修とし、さらに学びを深めたい学生は選択科目から履修
- ビジネス情報演習 ●統計の基礎 ●プログラミング基礎 ●情報科学概論 ●データ可視化 ●人工知能とその活用 など

異文化研修／国際交流実習

約2週間、教員とともに海外に渡り、現地の人々と交流を深めながら国際協力とは何かを、現地の人々と共に考える。



インターナショナルプログラムズ

海外協定校に留学し、語学力と国際的な視野を深め、多文化理解を促進。留学中も、担当教職員からのサポートがあるので安心。



専攻選択・ゼミ選択

専門科目

- 専門的な科目を学ぶとともに、ゼミ活動で国内外のさまざまな課題について取り組む
- 経営学Ⅰ ●企業会計 ●情報マネジメント論 ●情報技術論 ●データサイエンス実践演習 ●観光ビジネス論 ●都市観光論 ●生活と水環境 ●住環境デザイン演習 ●英語文学 ●英語音声学 など

- ゼミ活動での卒業研究スタート
- インターン、就職活動スタート



企業との産学連携プロジェクトで、ノベルティ商品を開発



米づくりから始める日本酒プロジェクト

- 公務員試験
- 卒業研究中間発表、最終発表



学内企業研究会は北陸の企業を知る良い機会



アジアやヨーロッパでの実習で日本との違いを体感

資格取得のサポート

- 日商簿記検定
- ビジネス会計検定
- ITパスポート
- 情報セキュリティマネジメント
- 基本情報技術者
- 旅行業務取扱管理者
- eco検定
- カラーコーディネーター検定
- インテリアコーディネーター
- 危険物取扱者（乙種）
- TOEIC 700点以上
- 実用英語技能検定試験 準1級以上

就職支援

- プロジェクトを通じた企業・団体とのネットワーク形成
- 4年間を通じたキャリア支援プログラム
- 学内企業研究会
- 公務員試験対策
- TUINS eラーニング（SPI対策）
- キャリアカウンセリング

学内勉強会の開催や学外研修への支援などを通じて、資格取得や就職活動をサポート。



実践的な学びの体系（専攻共通）

地域づくり実習Ⅰ

資料収集・分析や現地調査、ヒアリングなどの手法を実践的に学びながら、地域課題を把握する。

地域づくり実習Ⅱ

地域づくり実習Ⅰを通じて把握した地域課題に対して、改善案の検討や提案方法を学びながら、解決策を検討する。

ゼミ活動、プロジェクト研究／卒業研究

ゼミ活動を通じて、より専門的な立場から地域課題解決の実践に向けた取り組みをすすめる。

これまでのプロジェクトを通じて得られた知見を、卒業研究の成果としてまとめる。